

小規模多機能型居宅介護「サービス評価」 総括表

法人名	(株)東建設計	代表者	代表取締役 中里義範	法人・ 事業所 の特徴	平成27年3月1日開設、「生き生きと穏やかに」を理念に掲げ、高齢者が在宅生活を継続していきことができるように訪問、通い、泊まりを調整し支援している。認知症の独居の利用者が増加しており、地域高齢者支援センター、医療機関、訪問看護、訪問リハ、福祉用具等との多職種連携を図っている。毎日午前午後の体操レクやドライブ、行事等で楽しみや他者との関わりを深め、自立した生活を目指して支援している。ボランティア支援はコロナも5類に変更となる為少しずつすすめ、地域の方々と交流を深めていきます。
事業所名	小規模多機能ホーム 椿寿園	管理者	西浦敏恵		

出席者	市町村職員	知見を有するもの	地域住民・地域団体	利用者	利用者家族	地域包括支援センター	近隣事業所	事業所職員	その他	合計
	1人	4人	1人	人	人	1人	人	1人	人	8人

項目	前回の改善計画	前回の改善計画に対する取組み・結果	意見	今回の改善計画
A. 事業所自己評価の確認	在宅時の暮らし方を把握し、本人の「～したい」も実現が少しでもできるよう、一人一人の利用者のニーズを把握し、地域で生活が継続できるよう支援していく。	利用者の自立した生活を目指す為、13:00～13:20のミーティングを毎日行っている。職員の中に浸透し、情報共有や各々のケースに統一したケアを行うことができている。	職員の資質の向上を目指す為に職員それぞれが何を学びたいか、目標に向かって講習を受けていくことも良いのではないかな。	講習を受けた後、伝達研修を行い職員全員が知識を深めていけるようにする。ミーティング時に実施する。
B. 事業所のしつらえ・環境	災害時の避難通路について誰でも分る場所からどのように避難するとスムーズにできるか、職員間の共有を図る。	コロナ感染防止対策に、換気を重要視している。早朝4時頃と昼食後の2回、園内の戸を全開し、空気の入替えの他、CO2濃度測定器を使用都度換気、他空気清浄機を4台稼働、手洗いやアルコールで拭き取り、感染に努めている。	コロナ感染予防に換気が最重要である。高齢者施設の為、一層努力してほしい。帰宅願望の方々数名いるが、玄関の鍵はかけないで対応している。今後も継続してほしい。	認知症について知識を深め、対応の仕方を学ぶ。 無断外出される利用者への対応に力を注いでいく。
C. 事業所と地域のかかわり	利用者の家族に濃厚接触者や職員の子どもが通う保育園の休園等あり、人員不足がある。PCR検査、抗原検査を実施し、クラスターが発生しないよう、手洗い、マスク、消毒等努めていく。	コロナ禍の為、地域とのかかわりは最小限としてきたが、換気や手洗い消毒を重要とした結果、感染が無く運営できている。利用者の「～したい」の実現に努めることで地域の中で生活できている。	高齢者支援センターとのかかわりを持ち、サービス提供がされている。地域の方々が在宅生活を継続していけるように、民生委員とも相談しながらすすめてほしい。	コロナ禍も下火となり、普段の生活を取り戻しつつある。 公民館での予防教室等、地域行事に参加をすすめていく。
D. 地域に出向いて本人の暮らしを支える取組み	利用者一人一人のニーズに対応していく。土中の大根掘りが重くてできないとのことで、出向き支援した。例として、草取り他本人のできないところを一緒に行うことも可能である。必要に応じ訪問で暮らしを支援していく。	在宅生活を支援すべく、在宅での掃除、調理、洗濯、外出同行で市役所、郵便局、スーパー、美容院、病院、薬局、朝・昼・夕の配食に訪問対応を施行している。月1回自宅訪問し、ケアプランの確認やニーズの聴き取りに努め、ミーティングで共有し、より良い支援に努めている。	登録定員29名以外の方にも対応している。自宅訪問し、利用者が在宅生活を継続していけるような種々の支援を行っている。今後も個々に合った支援を行ってほしい。	「～したい」の実現が在宅生活の継続につながる。 利用者以外の方へ訪問し、必要な支援を行っていく。場合により、多職種連携を図っていく。

<p>E. 運営推進会議を活かした取組み</p>	<p>一人一人の暮らしが違うことや、認知症の進行で近所の方に迷惑をかけることもあり、運営推進会議でケースの事例検討を行い、アドバイスを受けることで在宅生活の継続つなげていく。</p>	<p>難しいケースについて、民生委員の方々からアドバイスを受けることができた。都度事例検討を行い、地域の方々からの意見を参考にすすめることができた。今後も実施していきたい。</p>	<p>介護保険課、高齢者支援センター、民生委員、地域の方からの情報、アドバイスをケアに役立てている。今後も事例検討を実施し、多くの方が地域の中で暮らしていけるよう支援が必要である。</p>	<p>メンバーは常に地域のかかわりが大きい役職の方々である。事例検討を多くし、より良いアドバイスを受け運営に役立てていく。</p>
<p>F. 事業所の防災・災害対策</p>	<p>BCP（事業継続計画）の作成に取り組んでいく。ミーティングで必要性を共有し、身近なライフラインがストップした場合を想定し、取り組みやすいところから全員で作成していく。</p>	<p>事業所の立地が津波浸水地域にある為、避難の方法が最大限課題である。12mの高さであればネパール屋上を目指す、それ以上であれば三日町方面を目指す。3日分の食料、燃料、備品等準備中である。他、今後、水道、電気がストップした時のBCP（事業継続計画）を作成していく。</p>	<p>災害はいつくるか予想できない。避難方法を常日頃検討し、被害が最小限で済むように対応してほしい。地域の方々が災害に合っても早急に普段の生活が取り戻せるよう対応してほしい。</p>	<p>令和6年度からBCP計画が義務付けられる。小規模事業所であるが、災害があっても利用者の生活が滞ることなく継続できるよう、ミーティング等で話し合い、今年度中に作成していく。</p>

事業所自己評価・ミーティング様式

実施日 令和4年12月17日(13:15 ~ 14:00)

1. 初期支援(はじめのかかわり)

メンバー 西浦・伊藤・東・松長・赤坂

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計(総人数)
①	前回の課題について取り組みましたか?	1人	8人	1人	人	10人

前回の改善計画	
<p>通い時、昼食後(長い間の習慣により)休む方々と(昼寝)休まない方々がおられる。休まない方々とコミュニケーションをとる為に人員を配置する。会話やかるた、トランプ等に介入し「楽しかった」という気持ちを持ち人間関係が築けるよう支援する。関わりの中で利用者のニーズを把握していく。</p>	
前回の改善計画に対する取組み結果	
<p>昼休みの楽しみとして、会話、かるた、トランプ等を提供していたが、7月コロナ感染の発生源となり中止した。以後、密になるゲームは止め、席の配置も向い合せではなく、一方向とした為、好まれる歌番組をユーチューブで見せていただいている。</p>	

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計(総人数)
①	本人の情報やニーズについて、利用開始前にミーティング等を通じて共有していますか?	1	9			10
②	サービス利用時に、本人や家族・介護者が、まず必要としている支援ができていますか?	2	8			10
③	本人がまだ慣れていない時期に、訪問や通いでの声掛けや気遣いができていますか?	2	7	1		10
④	本人を支えるために、家族・介護者の不安を受け止め、関係づくりのための配慮をしていますか?	2	7	1		10

できている点	200字程度で、できていることと、その理由を記入すること
<ul style="list-style-type: none"> ・ミーティング中、申し送りノート等を通して、事前に情報を共有してから関わる事ができている。 ・できるだけコミュニケーションをとっている。コロナの為、ゲーム等のレクリエーションは減ったが、ビデオ番組の視聴をツールとしている。 ・密にならないような会話を実施、困り事や希望を聞いている。家族との関わりを多く持ち、ミーティングで共有している。 ・日常の通い、訪問の中からニーズを掴んでいくことができている。 ・初めての方には細部に情報を共有することで関係性は何とか築けているが、慎重な対応が必要と共有している。 	

できていない点	200字以内で、できていないことと、その理由を記入すること
<ul style="list-style-type: none"> ・スムーズに支援が進まない時がある。 ・家族との接点が少ないので、不安の受け止めがうまくできない時がある。 ・新規利用者との関係作りが難しい時がある。 理由)・その日の気分や体調など変化あり、対応できない所ある。 <ul style="list-style-type: none"> ・ミーティングや情報紙のみからの把握になっている。 ・情報からのみ捉えてしまうところあり、現実とは違うところあり。 	

次回までの具体的な改善計画	(200字以内)
<p>新しい利用者の性格、生活歴、暮らし方等把握できていれば対応がスムーズに進むが、家族からの情報が十分に寄せられず分からないまま問題となる時がある。都度、家族とモニタリングを重ね、少しでもより良い対応ができるようミーティングで話し合います。</p>	

事業所自己評価・ミーティング様式

実施日 令和4年12月17日 (13:15 ~ 14:00)

2: 「～したい」の実現 (自己実現の尊重)

メンバー 西浦・伊藤・東・松長・赤坂

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	前回の課題について取り組みましたか?	1人	7人	2人	人	10人

前回の改善計画	一人一人の「～したい」は何かを話し合い、サービスの内容に幅があることを知らせ、本人の希望することが叶えられるよう対応していく。関わりを多く持つことで当面の目標が実現できるよう努める。又、長期目標「住み慣れた家で暮らしていきたい」が継続できるよう支援していく。
前回の改善計画に対する取組み結果	本人の当面の目標が職員間で共有できていなかった。ケアプランの中の長期目標、短期目標を共有し、統一した対応をしていくことが必要である。

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	「本人の目標 (ゴール)」がわかっていますか?		5	4		9
②	本人の当面の目標「～したい」がわかっていますか?		6	3		9
③	本人の当面の目標「～したい」を目指した日々のかかわりができていますか?		7	2		9
④	実践した (かかわった) 内容をミーティングで発言し、振り返り、次の対応に活かしていますか?	2	6	2		10

できている点	200字程度で、できていることと、その理由を記入すること
<ul style="list-style-type: none"> ・モニタリングの内容を読み、本人の「～したい」の情報を得ている。利用者の希望に対応している。 ・本人の言葉、様子で「～したい」を感じとり対応している。潜在能力を引き出せるように対応している。 ・「～したい」を実践した時は、状況を話し合い、次の「～したい」の実現に繋げている。 	

できていない点	200字以内で、できていないことと、その理由を記入すること
<ul style="list-style-type: none"> ・本人の目標が分からない人もいる。 ・「～したい」を引き出すことが難しい。 ・園外での活動を希望される時、対応ができない。 ・一人一人の目標は何か把握できていない。 理由) ・本人の目標を理解できていない。 <ul style="list-style-type: none"> ・目標について話し合う機会がない。 	

次回までの具体的な改善計画	(200字以内)
<p>ケアマネジャーと職員1～2名は利用前に本人、家族とサービス担当者会議を開き目標について話し合い、ケアプランを作成している。ミーティングで対応のみ話し合い共有していた。今後、ケアプラン改正の都度、目標 (長期目標1年間、短期目標6ヶ月) を職員間で共有することで、より「～したい」の実現に近づくことができるよう努めていく。</p>	

事業所自己評価・ミーティング様式

実施日 令和4年12月17日(13:15 ~ 14:00)

3. 日常生活の支援

メンバー 西浦・伊藤・東・松長・赤坂

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計(総人数)
①	前回の課題について取り組みましたか?	1人	8人	1人	人	10人

前回の改善計画	「在宅で暮らしていきたい」という思いを大切に、出来る限りの支援をしていく。 短時間での訪問の回数を増やすことで見守りができる為、訪問に対応する人員を増やしていく。 一人一人の生活状況をミーティングで話し合い共有していく。
前回の改善計画に対する取組み結果	午前、午後の職員を一人増やすことで現在利用者の在宅生活を支援するべく訪問の希望により、掃除、調理、買い物、公的機関、医療機関、美容院等への同行等、幅広く訪問が実施できている。

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計(総人数)
①	本人の自宅での生活環境を理解するために「以前の暮らし方」が10個以上把握できていますか?		2	7		9
②	本人の状況に合わせた食事や入浴、排せつ等の基礎的な介護ができていますか?	3	7			10
③	ミーティングにおいて、本人の声にならない声をチームで言語化できていますか?	1	7	2		10
④	本人の気持ちや体調の変化に気づいたとき、その都度共有していますか?	1	8			9
⑤	共有された本人の気持ちや体調の変化に即時的に支援できていますか?	1	9			10

できている点	200字程度で、できていることと、その理由を記入すること
<ul style="list-style-type: none"> ・本人の体調に気づきあった時、スタッフ同士報告していた。 ・ミーティングで本人の生活の様子の変化に気づいた時は、何でも話し合い情報交換を共有している。 ・体調の変化にすぐに対応できている。バイタル測定、顔色、食欲、行動を通して変化に気づき支援できている。 ・生活リハビリとして軽作業を行っている。 ・本人の気持ちや体調の変化をスタッフで共有し、状況に合わせたケアを行っている。 	

できていない点	200字以内で、できていないことと、その理由を記入すること
<ul style="list-style-type: none"> ・「以前の暮らし方」10ヶ以上把握できていない。 ・認知症の方と意思疎通が難しい。 ・「本人の声にならない声」を引出し、言語化することは認知度の高い方はとても難しいと感じる。 ・その日その日の利用者の様子、体調確認。 理由)・情報の共有が不十分な時がある。 <ul style="list-style-type: none"> ・利用者の暮らしが一部の利用者のみしか理解できていない。把握不足がある。 ・認知症という病気の理解、知識が不足している。経験不足、能力不足があると思う。 	

次回までの具体的な改善計画	(200字以内)
職員が訪問するだけでなく、家族からの相談に対応することで改善を図り、在宅生活が継続できるようすすめていく。利用者、家族とのコミュニケーションを多くとり、求められる支援に対応していく。	

事業所自己評価・ミーティング様式

実施日 令和4年12月17日(13:15 ~ 14:00)

4. 地域での暮らしの支援

メンバー 西浦・伊藤・東・松長・赤坂

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計(総人数)
①	前回の課題について取り組みましたか?	1人	4人	5人	人	10人

前回の改善計画
利用者一人一人の在宅での過ごし方を把握に努める。特に一人暮らしの方については、本人、家族との関わりを多くし困ったことや不安はないか、地域の方々とのつながりはあるか等探り、地域の資源に結びつけられるか考えていく。
前回の改善計画に対する取組み結果
地域資源は一人の利用者と関わりを持つ社会全てのことである。その人らしい生き方に添えているか共有が不足していた。

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計(総人数)
①	本人のこれまでの生活スタイル・人間関係等を理解していますか?	1	7	2		10
②	本人と、家族・介護者や地域との関係が切れないように支援していますか?	1	4	5		10
③	事業所が直接していない時間に、本人がどのように過ごしているか把握していますか?	1	3	5	1	10
④	本人の今の暮らしに必要な民生委員や地域の資源等を把握していますか?	1	2	5	2	10

できている点	200字程度で、できていることと、その理由を記入すること
	<ul style="list-style-type: none">・かかりつけ医への受診介助や送迎、安否確認、買い物希望時の付添いを行っている。・地域の行事に参加し、ドライブ、買い物に出掛け、生活のメリハリに繋がっている。・地域の行事はコロナ禍の為、少なくなっているが、春には蕨が届き蕨の皮むき、秋には菊の花が届き、菊むしり等利用者の昔を思い出す機会が得られている。地域と繋がっていると思う。・一人暮らしのストーブや灯油の管理等、こまめに行っている。・本人、家族と日頃から関わりを持っている。小さな変化や気づきを職員で情報交換している。

できていない点	200字以内で、できていないことと、その理由を記入すること
	<ul style="list-style-type: none">・地域との関わり方、利用者家族の人間関係、生活の様子が把握できない。・地域の資源を活用できているか、把握していない。・在宅時の過ごし方について把握不足あり。 理由)・利用者との会話の時間が少ない。 <ul style="list-style-type: none">・訪問のケースが少ない。民生委員、地域の資源について知識が不足している。

次回までの具体的な改善計画	(200字以内)
	地域との関わりを持ちながら暮らしてきているが、高齢により関わりが少なくなっている方が多い。一人一人に合った地域資源(利用者が地域で暮らしていく為に関わる全ての機関、病院、薬局、スーパー、公的機関、介護サービス、理美容院、訪問リハビリ、福祉用具等)の活用を模索し、その人らしい暮らし方に添えるよう話し合いながらすすめていく。

事業所自己評価・ミーティング様式

実施日 令和4年12月20日(13:00 ~ 13:30)

5. 多機能性ある柔軟な支援

メンバー 西浦・宮崎・木幡・儀俄

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計(総人数)
①	前回の課題について取り組みましたか?	4人	6人	人	人	10人

前回の改善計画
 ミーティングは毎日12:50~13:10の間に利用者の情報を話し合い共有し問題を解決に努め利用者が暮らしやすい生活に近づけている。
 他、本人、家族の状態に合わせ、「通い」「訪問」「宿泊」が適切に利用されるよう今後も継続し対応していく。

前回の改善計画に対する取組み結果
 ミーティングは13:00~13:20に行っている。本人、家族の状態に合わせ「通い」「訪問」「宿泊」のサービスが柔軟に行うことができている。通いの定員が決められている為、急な利用ある場合、両者理解の元、曜日の変更等調整していくことができている。

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計(総人数)
①	自分たち事業所だけで支えようとせず、地域の資源を使って支援していますか?	1	3	5		9
②	ニーズに応じて「通い」「訪問」「宿泊」が妥当適切に提供されていますか?	4	5	1		10
③	日々のかかわりや記録から本人の「変化」に気づき、ミーティング等で共有することができていますか?	3	7			10
④	その日・その時の本人の状態・ニーズに合わせて柔軟な支援ができていますか?	2	7			9

できている点 200字程度で、できていることと、その理由を記入すること

- ・通い、訪問、宿泊等は家族、本人の声を聞いて、ニーズには応えることができている。
- ・通い、訪問、宿泊については、適切に支援できている。
- ・毎日のミーティングも情報を共有する場として、情報共有ができている。状況に応じた柔軟な対応ができている。
- ・家族の都合や本人の体調により泊まりなど利用しやすい対応ができている。
- ・臨機応変、柔軟な対応ができている。

できていない点 200字以内で、できていないことと、その理由を記入すること

- ・小規模多機能は24時間支える事業の為、特に必要ないと思っていたが、一人暮らしの方は地域資源の活用は大事だと思う。

次回までの具体的な改善計画 (200字以内)

在宅生活を継続していく為に、本人の「変化」に気づき、どのような支援が必要か話し合う。
 通い、訪問、宿泊を柔軟に提供していくことを心がけていく。

事業所自己評価・ミーティング様式

実施日 令和4年12月20日 (13:00 ~ 13:30)

6. 連携・協働

メンバー 西浦・宮崎・木幡・儀俄

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	前回の課題について取り組みましたか?	2人	7人	1人	人	10人

前回の改善計画
医療機関、訪看、訪問、福祉用具について、本人の状況に合わせ、本人が在宅生活を継続できる為の検討をしており、今後も継続していく。医療機関の来園での集団接種等、連携を強化していく。地域ケア会議への参加、公民館での研修等に参加し学んだことを活かしていく。
前回の改善計画に対する取組み結果
通院、服薬について家族と情報交換、連携をとり、健康を維持できるよう努めた。コロナ感染者が出た時、保健所、市介護保険課と連絡をとり対応することができた。コロナやインフルエンザワクチンの接種について家族、医療機関と連携をとり、すすめることができている。訪問リハ、福祉用具等の連携も常に行い、変化に対応することができている。

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	その他のサービス機関（医療機関、訪問看護、福祉用具等の他事業所）との会議を行っていますか？	1	6	1	2	10
②	自治体や地域包括支援センターとの会議に参加していますか？	1	2	3	4	10
③	地域の各種機関・団体（自治会、町内会、婦人会、消防団等）の活動やイベントに参加していますか？		1	3	5	9
④	登録者以外の高齢者や子ども等の地域住民が事業所を訪れますか？			3	6	9

できている点	200字程度で、できていることと、その理由を記入すること
	<ul style="list-style-type: none"> ・公民館での研修会には数回参加できた。学んだことは伝達研修をしている。日々の活動、レクに活用できている。コロナ禍での実施は難しい点もある。 ・医療機関はコロナ、インフルエンザワクチン等で連携している。 ・リモート講習に参加している。 ・サービス機関との会議を行い、本人が在宅生活を維持できるための検討を行っている。 ・本人の状況に合わせ、訪問リハビリを連携している。

できていない点	200字以内で、できていないことと、その理由を記入すること
	<ul style="list-style-type: none"> ・コロナ禍の為、地域との活動イベントに参加できない。 理由)・参加、訪問の機会が少ない。 <ul style="list-style-type: none"> ・コロナ禍もあり、会議、活動、イベント等縮小している。参加人数も限られており参加できていないが、今後はできる限り参加していきたい。

次回までの具体的な改善計画	(200字以内)
	感染症（コロナ、インフルエンザ）について、医療機関が行っているリモート研修に月1回参加している。夜間に実施される為、参加者は限られるが、今後も職員の参加をすすめていく。本人が退院時、医師、看護師、家族との会議に参加し、ミーティングで共有している。登録者以外の方より新聞紙や野菜の提供やボランティアの慰問等がある。コロナ対策をしながら関わりを継続していく。

事業所自己評価・ミーティング様式

実施日 令和4年12月20日 (13:00 ~ 13:30)

7. 運営

メンバー 西浦・宮崎・木幡・儀俄

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	前回の課題について取り組みましたか?	2人	7人	1人	人	10人

前回の改善計画
 利用者、家族、介護者からの苦情はミーティングで共有し、早速対応していく。
 地域の方からの意見は運営推進会議他でお聞きし運営に活かしていく。職員が意見を出しやすい雰囲気を作ることに努めていく。意見を運営に反映していく。

前回の改善計画に対する取組み結果
 毎日ミーティングを行い、情報交換やケースについて検討会を実施することで共有ができ、統一したケアが行うことができるようになった。

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	事業所のあり方について、職員として意見を言うことができますか?	1	5	4		10
②	利用者、家族・介護者からの意見や苦情を運営に反映していますか?	1	9			10
③	地域の方からの意見や苦情を運営に反映していますか?	1	4	2	1	8
④	地域に必要とされる拠点であるために、積極的に地域と協働した取組みを行っていますか?		4	1	2	7

できている点 200字程度で、できていることと、その理由を記入すること

- ・ミーティングを行うことで改善されている。
- ・利用者、家族の意見や苦情をミーティングで話し合っていると思う。
- ・利用者の家族の介護者からの苦情は共有し、改善策を話し合い対応している。
- ・苦情を受け改善策を話し合っている。
- ・自分の考え、疑問はミーティングの場で発言するようにしている。

できていない点 200字以内で、できていないことと、その理由を記入すること

- ・地域の方からの意見や苦情などあったか把握できていない。
- ・コロナの為、地域の意見など聞くことができない。
- ・職員として意見を言うこと。
- ・考えや意見を持ちながら、ミーティング等で発言されないと思う事がある。意見を出しやすい土壌ができていないのか?

理由) ・直接、地域の方々と関わる事がなかった。
 ・地域との接点をもつ機会がない。

次回までの具体的な改善計画 (200字以内)

コロナ禍の為、地域の方々との関わりは少ない。利用者、家族、介護者からの苦情については今後もミーティングで話し合い、スピード感ある対応を心がけていく。
 ミーティング以外でもお互い気づいた点は話し合いミーティングで共有していくという意識をすすめていく。

事業所自己評価・ミーティング様式

実施日 令和4年12月20日(13:00 ~ 13:30)

8. 質を向上するための取組み

メンバー 西浦・宮崎・木幡・儀俄

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計(総人数)
①	前回の課題について取り組みましたか?	3人	6人	1人	人	10人

前回の改善計画
コロナ禍であり、研修はほとんどリモート研修になっている。職員の資質向上の為に職員全員がリモート研修の機会を持てるよう進めていく。研修記録は回覧し職員がいつでも見ることが出来るようにしておく。リモート研修記録は誰でもいつでも見ることが出来るように各自勉強していく。
前回の改善計画に対する取組み結果
地域包括支援センター主催の公民館での高齢者教室に参加やリモート研修への参加で得た知識を共有し、質の向上に努めた。他、公的機関の研修にも数名参加している。

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計(総人数)
①	研修(職場内・職場外)を実施・参加していますか	4	5	1		10
②	資格取得やスキルアップのための研修に参加できていますか	3	5	2		10
③	地域連絡会に参加していますか		2	2	5	9
④	リスクマネジメントに取り組んでいますか		7	1		8

できている点	200字程度で、できていることと、その理由を記入すること
・八戸市や公民館等の研修、園内でのリモート研修を受けることができ、業務に活かすことができている。伝達研修で共有できている。 ・ヒヤリハットの提出でリスクについて共有している。施設全体で取り組んでいる。	

できていない点	200字以内で、できていないことと、その理由を記入すること
・地域連絡会に参加できていない。 理由)・コロナ感染により会の開催が減っている。参加の機会が少ない。 ・高齢者を地域で支えていくという事は理解できるが、参加者の報告のみで受け身的になってしまう。 ・日時が合えば運営推進会議に参加してみたい。	

次回までの具体的な改善計画	(200字以内)
スキルアップの為に職員全員が研修に参加できるように調整していく。 運営推進会議もコロナ禍で開催が難しい時もある。又、日程も日曜日の為参加できる職員も少ない。調整をつけながら参加をすすめていき、地域の中で暮らしていく高齢者についてどのような支援が必要か考えていく。	

事業所自己評価・ミーティング様式

実施日 令和4年12月20日 (13:00 ~ 13:30)

9. 人権・プライバシー

メンバー 西浦・宮崎・木幡・儀俄

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	前回の課題について取り組みましたか?	4人	6人	人	人	10人

前回の改善計画
身体拘束、虐待は今のところ無いが、オムツを外し、リハパン、パットの巾着をむしり取り、床の上へ散らす行為をされる方あり、尿便付着の巾着が散乱していることは不潔の為、ホック式のパンツを使用中、外すことが出来ないか検討していく。
前回の改善計画に対する取組み結果
認知症の方々には色々な症状がある。穏やかな生活を送っていただくことを常に考え、対応の仕方を考え実施している。無意識で行う行為もある為、納得できる方向へすすめることができたケースが多かった。

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	身体拘束をしていない	10				10
②	虐待は行われていない	9				9
③	プライバシーが守られている	6	4			10
④	必要な方に成年後見制度を活用している	6	1	1	2	10
⑤	適正な個人情報の管理ができている	7	3			10

できている点	200字程度で、できていることと、その理由を記入すること
<ul style="list-style-type: none"> 個人情報のファイルなど人目に触れないように管理されていて、身体拘束ゼロである。 人権が尊重されている。 	

できていない点	200字以内で、できていないことと、その理由を記入すること
<ul style="list-style-type: none"> ホールのベッドで昼寝されている方のオムツ交換の時、つい立てが必要ではないかと思う。 成年後見制度の知識が少ない。 理由)・介護度の高い利用者のプライバシー保護は難しいところある。ホールから個室へ移動に時間がかかってしまうが、職員の意識が不足している。 <ul style="list-style-type: none"> 成年後見制度を利用されている方がいない為、資料の説明だけで終わり、理解が不足している。 	

次回までの具体的な改善計画	(200字以内)
ホールにベッド4台並べて昼寝していただいている為、プライバシーの保護ができない場合もあった。今後、そのような利用者は必ず居室で休んでいただくようにした。 常に職員同志気づきを話し合い、啓発し合い、尊厳が守られ、プライバシーが保護されるケアを目指していく。	